

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。

<12/16・「冬のコンサート」>

12/15-16は特別行事。コンサートは、

1部: ヴィブラフォン演奏/佐藤晴陸(サウワルチカ)さん

2部: うたの会「木いちご」/地域の女性合唱団

3部: 生徒と一緒に合唱&ハンドベル、を企画実施。

素敵な楽器、メロディー、歌声が響きました。

<写真> ↓木いちごさん 生徒もヴィブラフォン体験 →



INDEX

P1: 巻頭言

P2: ヒューマンラスト/運動他

p3: シリーズ講座 No.6 報告

p4-5: 冬のコンサート

p6-7: 行事、2学期、

p8: エッセー、カレンダー、後記

「市民立」の学校、来春開校へ！ 認可を得てこれからは本番

認定NPO法人 常勤理事会

2022年11月21日、私学審議会は「まおい学びのさと小学校」認可を答申。ようやく3年越し3度の申請が結実です。自由な小学校設立運動は6年前に始まり、幾多の地域集会、署名数千名を基に自治体交渉し、反応の早かった長沼町と19年廃校舎貸与を締結。前後した地元住民説明会には当時の役場担当当局には本当にお世話になりました。しかし北海道学事課のハードルは高く、①縦割り体験学習の整合性、②体育館面積(高校並みの内規!)、③財産不足(開校前年分上積を直前提示)・

それらを2020年設立NPOまおい学びのさとの役員会員や支援者達は、この1-2年ほぼ毎月の現地体験会をしながらクリアしていきました。(大イベントには、先進「きのくに子どもの村学園」*堀学園長の講演+南アルプス中学の修学旅行交流、満員となった夏の2泊3日親子体験キャンプなど・)

改めて沿革を辿ると~日本の学校教育の受験型学力/点数評価や管理主義など競争過多の状況に対して、母体となる『自由が丘』が“子ども達が主人公=学び成長する主体者”を理念に掲げたのは35年前。98年夕張プレスクールを開始、5年後引継いだ自由が丘月寒スクールの実践通算25年がベースとなっています。私たちが柱とする「無学年オープンスクール」「体験総合型学習」「余市村での継続農業」や子ども参画ミーティング・行事などにより、現在26名在籍中。近年は小学生が急増しており(新しい学校設立運動との)相乗効果をも感じます。

[p2に続く]

注*30年前に和歌山で開校したイギリス/ニールの自由学校を範とした「子どもの学園」。西日本5県(福井、山梨、長崎、福岡)に小中学校+本校/和歌山に高等専修学校を擁し、生徒約710名在籍中。その様子は映画『夢みる小学校』にて。